



風疹が流行しています

2013年の流行以来、年100人以下まで減少し続けてきた風疹患者数が、2018・2019年ともに2000人を超え、現在も終息していません。

主な症状

発熱・発疹・耳の後ろなどのリンパ節の腫れ、関節痛・目の充血など。まれに脳炎や血小板が減少するなど重症化し入院する場合があります。

感染経路

会話や咳・くしゃみなどによる飛沫感染。感染力は非常に強力で、インフルエンザの5倍です。潜伏期は2～3週間で、発熱や発疹などの自覚症状が出る前から人へ感染するため、知らないうちに感染拡大するリスクがあります。

妊娠中に感染すると

おなかの赤ちゃんが**白内障や聴覚障害、心臓に生まれつきの障害が出る「先天性風疹症候群」**になる可能性があります。

風疹と診断されたら

大学の所属学部連絡をし、周囲に感染させないよう自宅安静にしてください。所属する部やサークル、ゼミ内で他にも罹患者がいないか注意してください。学校保健安全法で発疹が消えるまで出席停止と定められており、通学再開は診断した医師の許可が必要になります。

予防接種が予防のカギです

大学生のみなさんの年代を含む1990年4月2日以降に生れた人は、**1歳と小学校入学前の2回**予防接種を受ける機会があり、免疫が確立されているはずですが、母子手帳などで接種記録が確認できない場合はワクチン接種をお勧めします(医療機関では麻疹も予防できる2種混合MRワクチンを推奨)

40～57歳の男性は風疹の予防接種を受ける機会がなかった「風疹予防接種の空白世代」と言われ、感染リスクが高く、ワクチンを接種することが急務です。該当の年齢の方にはお住まいの市区町村から、原則無料で風疹抗体価検査と予防接種を受けられるクーポンを郵送しています。

2019年度郵送予定

S47.4.2～S54.4.1 生(40～47歳)

2020年度郵送予定

S37.4.2～S47.4.1 生(48～57歳)

2020年度郵送予定の方で、今年度クーポンを利用したい方はお住まいの市区町村にお申込みください。ご家族・知人で受け取った後、未使用の方がいましたら利用を勧めてください。また、自治体によっては**将来妊娠・出産を希望する女性**に対しても、予防接種費用を全額・あるいは一部補助しているところもありますので、制度を調べて有効活用しましょう。

2019.10.25 明治大学 学内診療所